

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備科 共通学科教育) 平成30年度 第1学年

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	1通	68	2	○			○	○			
○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			航空法規	航空整備士に必要な関係法規を理解させる	1通	68	2	○			○	○			
○			航空力学	流体力学、空気力学の基礎及び、飛行機の特長、諸現象について理解させる	1通	105	3	○			○	○			
○			航空機構造学	飛行機の構造、装置、各種システムの概要を理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			航空機材料学	航空機に使用されている材料の規格、性質について理解させる	1通	68	2	○			○	○			
○			発動機学	発動機の基礎知識、構造、作動について理解させる	1通	136	4	○			○	○			
○			航空電気学	航空機の電気に係る基礎知識、理論及び、装備品、各システムについて理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			航空計器学	航空機用計器の構造、機能、取扱及び、無線機器の動作原理、運用について理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			基本技術	航空機の整備に必要な基本技術の知識を習得させる	1通	204	6	○			○	○			
合計			12 科目		1057単位時間(31単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の20%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 技術コース) 平成30年度 第2学年

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	2通	34	1	○			○	○			
○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	2通	68	2	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	2通	68	2	○			○	○			
○			PC実習	マイクロソフト ワード及び、エクセルの基本操作について理解させる	2通	68	2			○	○	○			
○			装備品実習	実験及び回路作成を通し、理論的、科学的な志向を身につけさせる	2通	102	3			○	○	○			
○			工作実習	溶接加工の基本技術、加工手法・方法について理解させる	2通	102	3			○	○	○			
○			機械製図	製図の基礎、図面の読み方、立体製図の基礎知識を習得させる	2通	102	3			○	○	○			
○			原動機材料	航空機用エンジンに使用される材料について、その種類・性質・加工方法・用途等について理解させる	2通	102	3			○	○	○			
○			ジェット・エンジン構造	タービン・エンジンの構造・主要系統を理解させる	2通	102	3	○			○	○			
○			ジェット・エンジン実務	原動機の製造・修理方法について理解させ、航空工場検査員国家試験合格を目指す	2通	102	3	○			○	○			
○			非破壊実習 I	超音波探傷試験の基礎から適用方法を理解させ資格取得を目指す	2通	102	3			○	○	○		○	
○			航空機製造事業法	航空機の製造・修理業務に係る法令の構成と内容、知識を習得させる	2通	68	2	○			○	○			
合計			12 科目		1020 単位時間 (30単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の20%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 技術コース) 平成30年度 第3学年

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	3通	34	1	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	3通	68	2	○			○	○			
○			体育	ランニング、球技スポーツを通じて、健康な身体の維持管理の方法を学ぶ	3通	68	2			○	○		○		
○			生産管理	生産管理の手法を理解させ、航空機製造業への応用を学ぶ	3通	68	2	○			○		○		
○			CAD 実習	CADの基本操作、製図の基礎を学ぶ	3通	102	3			○	○		○		
○			PC 実習	マイクロソフト ワード及び、エクセルの基本操作について理解させる	3通	68	2			○	○		○		
○			電子回路実習	電子回路図の解読、電子技術の基礎知識、計測機器の使用方法等について理解させる	3通	102	3			○	○		○		
○			非破壊実習Ⅱ	浸透探傷試験の試験の基礎から適用方法を理解させ資格取得を目指すと共に、磁粉探傷試験の試験の基礎から適用方法を理解させる	3通	204	6			○	○		○		
○			非破壊実習Ⅲ	放射線透過試験、放射線の取扱の基礎知識を理解させる	3通	102	3			○	○		○		
○			基本技術	航空機整備の基本技術、計測・溶接実習、製品作成等通じて基礎技術を習得させる	3通	136	4			○	○		○		
合計					10 科目		952 単位時間(28単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の20%以内。 全単位を取得すること。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。